

# 児童発達支援における自己評価結果：事業所内（公表）

公表:令和3年（2021年）7月1日

事業所名 こども療育研究室 Lulu大津

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・基準よりも広いスペースを確保している。</li> <li>・新型コロナウイルス対策に配慮し、密にならないように対応していく。</li> </ul>
	② 職員の配置数は適切であるか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハビリ専門職を常勤させ、基準人員よりも多い人数で対応している。</li> </ul>
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレに手すりがなく、必要な児童もいるので検討していく。</li> <li>・玄関に階段がありスロープなどの検討が必要である</li> </ul>
業務改善	④業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、実施し、次回利用時の支援に生かしている</li> </ul>
	⑤保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末に実施し、次年度の結果を今年度の運営に生かしている。</li> </ul>
	⑥事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・今度の7月に公表、開設初年度で把握ができておらず、公表が遅くなり申し訳ありません。</li> </ul>
	⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常講師の言語聴覚士や作業療法士に定期的にアドバイザーとして来て頂き、アドバイスをもとに改善に努めている。</li> </ul>
	⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナで積極的には研修会など実施できていないが、Zoomなどを活用して虐待や接遇などの勉強会を実施した。</li> </ul>
適切な支援の提供	⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・セラピストで個別療育を実施し、脳の情報処理過程に基づく分析を行い、児童発達支援管理責任者と連携しながら個別支援計画を作成している。</li> </ul>
	⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、遠城寺式・乳幼児分析的発達検査表を使用しており、事業所独自の評価表を作成中である。</li> </ul>
	⑪児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドラインを基に具体的な支援内容が設定されている</li> </ul>
	⑫児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人カルテに挟み込みスタッフ間での情報共有を図っている。</li> </ul>
	⑬活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・正規雇用の職員を中心に、年間計画を作成し、月、1週間単位で活動の内容立案している。</li> </ul>
	⑭活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・正規雇用の職員を中心に、年間計画を作成し、月、1週間単位で活動の内容が固定化しないように工夫している。</li> </ul>
	⑮子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・セラピストが個別療育を実施し、保育士、児童指導員が集団活動を担当しており、連携しながら療育を実施しており、児童発達支援計画にも反映されている。</li> </ul>
	⑯支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・一週間ごとに目標を立て、担当を決定し、一日一日支援内容の確認は行っている。</li> </ul>
	⑰支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、その日の目標に対する振り返りをスタッフで実施し、気になる児童に対しては具体的な支援方法を全員で検討している。</li> </ul>
	⑱日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳、支援記録、振り返りなどの記録されており、休みだったスタッフが見れるようにしている。</li> </ul>
⑲定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6ヶ月単位で計画の見直しを行っている。前倒して計画の見直しは行っていないが、振り返りなどの話し合いで個別活動や、集団活動の中から課題を抽出し6か月後の計画立案の際に反映させている。</li> </ul>	
⑳障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援管理責任者又は、セラピストが必ず参加するようにしている。</li> </ul>	

関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	㉑母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			・すべての児童に出来ているわけではないが、保健師などとの連携が必要な児童においては、相談員、母親、他事業所などと密に連携を図り、サポートしている。
	㉒医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			・リハビリ専門職が在籍しているため、介助方法や、学習支援の方法などより子供たちに合った支援をするために、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている。
	㉓医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			・以前、重症児を受け入れていた際にはかかりつけ医に指示書を書いてもらい、同グループの訪問看護のスタッフと連携してサービスを提供していた。
	㉔保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			・送迎に行った際に先生方との情報交換を積極的に行い、就学支援シートなどの作成等に関わっている。
	㉕小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と理解を図っているか	○			・年長児の親御さんとは毎年9月ぐらいまでに保護者と面談し、進路や次年度の放課後等デイサービスの利用の有無を確認している。
	㉖他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	・コロナ禍で実施はできていない
	㉗保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	・コロナ禍で活動はできていない
	㉘（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			・可能な範囲で参加している
	㉙日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・連絡帳や送迎の際に情報交換をして、課題について共通理解を図っている。
㉚保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか				・コロナ禍で実施はできていないので、今年度Webなどで検討していく	
保護者への説明責任等	㉛運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約の際に重要事項説明書の中で丁寧に説明している。
	㉜児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			・毎回、支援計画作成後、迅速にサインをもらい同意のもとサービスを実施している。
	㉝保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・事業所のメールやラインなどを活用し、保護者悩みなどにも迅速に対応している。
	㉞父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・コロナ禍で父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等の活動はできていない
	㉟子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・必要に応じて、事業所内で面談を行ったりしている
	㊱定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・会報などは作成できていないが、毎週LINEやメールなどで活動の様子（写真）を送ったり、Instagramにて情報発信を行っている。
	㊲個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			・研修などを行い、守秘義務や会話などの内容にも気を付けるように指導しており、個人情報の取扱いに十分注意している。
	㊳障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・視覚支援など自分の気持ちや生理的欲求を伝達できるように、支援方法については共有を図るように努力している。
	㊴事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・コロナ禍で地域住民を招待するなどの活動はできていない。
非常時等	㊵緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか			○	・マニュアルを作成してあり、スタッフに周知はしているが訓練までは実施できていない。
	㊶非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・年に3回程度、活動の一環で子供たちを実施している。
	㊷事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか			○	・てんかんなどのリスクのある持病については確認しているが、予防接種までの確認できていない。
	㊸食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・利用開始時にサポートブックを書いてもらい、アレルギーなどの状況を確認している。

の 対 応	④ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		・事例集を作成はできていないが、ヒヤリハット報告書を作成し、その都度記載してもらい事業所内で共有している。
	⑤虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		・年に一回は実施するようにしている。
	⑥どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		・身体拘束に対する、会議を管理職レベルで開催し、食事などやむを得ず身体拘束が必要な児童に関しては個別支援計画の中に記載し、保護者に同意を得て行っている。